

この地で決然と生きる



豊岡市長 中貝宗治

春 あいさつ

あけましておめでとうございます。
今年一年、豊岡が平穏無事でありますように。一年を通して市民の皆様の笑顔があふれ、子どもたちの笑い声が響きますように。

昨年、「小さな世界都市」の実現に向けて着実な歩みを進めた一年でした。

三月、出石の野外で生まれたコウノトリが、自然放鳥後初めて、国境を越えて韓国・慶尚南道に渡り、今もそこで暮らしています。快挙に拍手喝采でした。日韓関係は依然厳しい状況にありますが、慶尚南道では、コウノトリを架け橋に豊岡との友好ムードが高まっています。世界的大事業であるコウノトリの野生復帰は、新たな局面に入りました。

四月、城崎国際アートセンターがオープンしました。舞台芸術家に滞在・制作の場を無償で提供する施設です。スタート直後から高い評価を得て、日本はもとより、フランス、イギリス、カナダ、ルーマニアなど、世界中からアーティストたちがやってきました。今年も世界レベルのアーティストを始め、八つの国際プロジェクトの滞在・制作が予定されています。舞台芸術を応援し、創造するまち「豊岡」の認知度が一気に高まりつつあります。九月、山陰海岸ジオパークが世界ジオパーク、世界的価値を有する地球活動遺産として再認定されました。県立大学の大学院設置を始め、四年間の地道な努力が高く評価されました。

グローバル化の進展により、世界が急速に同じ顔になりつつあります。固有なものが失われ、世界中が文化的な魅力を失いつつある中で、受け継いできた大切なものを守り、育て、引き継ぐまちづくり、「伝統を守り、活かす」ことが、世界の中で輝くための有力な戦略になってきました。豊岡のチャンスです。グローバル化のもう一つの側面は、世界が急速に小さくなっていくことです。今や地球の反対側に住む人でも、インターネットで日本の訪問先を探し、予約する時代。小さな町でも世界の人々に直接発信することができるようになりました。豊岡のチャンスです。

では、なぜ「世界」なのか？

まず、そこに巨大なマーケットがあるからです。そしてもう一つ大切なこと。世界から豊岡の価値を認められることを通じて、私たち自身の誇りに繋げようということです。

ここはパリでもウイーンでも東京でもありません。過疎化も高齢化も少子化も進んでいません。世界に素敵なところがたくさんあることを、私たちはよく知っています。その上でなお「ここがいいのだ」「豊岡でいいのだ」という覚悟をもって生きていきたいと思えます。私たちはこの地で世界と出会い、世界と結ばれながら決然と生きていくのだ、その覚悟と希望をもって、今年も市民の皆様と力を合わせて頑張つてまいります。

迎 年頭のご



豊岡市議会議長 升田 勝 義

次の世代へ元気な豊岡をバトンタッチ

あけましておめでとうございます。

市民の皆様には、ご家族おそろいで輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。合併から10年目の節目を迎え、新市としての礎も固まり、豊岡市の将来を形作るまちづくりが着実に進められています。

さて、昨年を振り返りますと、消費税率8%への引き上げ、御嶽山の噴火や地震の発生、児童虐待による幼児死亡事件など暗い話題も多くありましたが、スポーツ界ではソチ冬季オリンピックでのメダルラッシュやプロテニスプレーヤーの錦織選手の大躍進があり、国民に夢と感動を与えてくれる明るい話題もありました。

本市では、昨春に、市役所新庁舎やカバシアルチザン、豊岡1925などが続けてオープンし、名実ともに中心市街地の顔として整備されました。また、芸術文化の拠点施設としてオープンした城崎国際アートセンターでは、アーティストが滞在して演劇などの作品を制作。それらの作品を市民の皆様が目の当たりにすることで、より一層の芸術文化の振興が図れるものと期待しています。

7月に秋篠宮殿下、眞子内親王殿下をお招きし「第5回コウノトリ未来・国際かいぎ」を開催。10月には山陰海岸ジオパークが世界ジオパークネットワークに再認定されました。近年、異常気象が続いています。8月には、

短時間で局地的な集中豪雨が発生。福知山市では市街地が冠水し、丹波市では土石流が発生し、家屋が倒壊するなどの被害が出ました。幸い本市では大きな災害はありませんでしたが、いつ、どこで自然の猛威が私たちに襲いかかってくるか分からないことを肝に銘じておくとともに、さらに安全・安心なまちづくりを推進していかなければなりません。

さて、過疎化や高齢化、少子化が急速に進み、地域力が急速に弱まりつつあります。そのため、地域の祭りや行事ができないなど、その地域では解決できない課題が増えてきています。そこで、本市では地区公民館の区域を単位とする新たなコミュニティ組織を平成29年4月を目途に立ち上げることになりました。昨年10月に有識者や市民からなる検討委員会から「新しい地域コミュニティのあり方方針(案)」が答申され、今後はこの方針に基づき、地域と行政が役割を分担し、協働して新しい地域運営の仕組みを作り上げていくこととなります。市議会としても、より豊かな住みよいまちづくりを目指し、次の世代へ元気な豊岡をバトンタッチできるように心新たに努力、邁進してまいる所存であります。

市民の皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のご多幸を心からお祈り申しあげ、新年のごあいさつとさせていただきます。

〔写真：山陰海岸ジオパーク・玄武洞の雪景色〕